

「新あいち多文化共生推進プラン(仮称)」の作成にあたって

- 現行プランを基に、第1回プラン検討会議における委員の意見やアンケート結果等を踏まえて作成してあります。特に、以下の部分に反映させています。

項	目	ページ数
第1章 プラン策定に関する基本的な考え方		
5 プラン策定の意義		P2~4
(1)前プラン策定後の変化		
(2)現在も残っている課題		
第2章 多文化共生推進に関する基本的な考え方		P7~8
3 多文化共生推進の方向性		
第3章 推進施策の方向		P12~24

- 「施策目標」と「施策の方向」の間に、5年後にどのような状態を目指すかを示した「目指すべき状態」を加えました。〈P11〉
- 新プランの施策の方向性は、多文化ソーシャルワーカーや日本語学習支援基金といった新たな事業を実施することが主体ではなく、既存事業の充実や多様な担い手や関係機関と幅広く連携を図り、効果的かつ効率的に多文化共生施策を推進することを目指しています。
- また、10の重点施策を一覧にまとめ、各施策の目標を掲げました。ただし、目標については、数値ではなく、平成29年度までに目指すべき状態を示しています。〈P24〉
- 外国人を受け入れる姿勢を明確にするために、目指すべき状態として、「地域社会で外国人を受け入れる状態にある」を掲げました。具体的には、多文化共生月間を制定し、対外的に外国人を受け入れる姿勢をアピールしていくとともに、単発的ではなく、継続的・広域的な制度・仕組みづくりを行うために有効な方法も検討していく予定です。
- 現行プランでは、本編の中にあつた、「愛知県のこれまでの取組」や「現状と課題」は、参考資料として後ろへ回し、プランの中心である「施策の方向」や「具体的な施策」を先に読んでもらえる構成としました。
- 予算の査定状況等によって、修正等が必要なものも出てくると考えられます。また、語句の整理やレイアウトについては、まだ統一しておりませんので、ご了承ください。